

RV3000 A1 機器仕様				
モデル名		RV3000 A1 5年モデル	RV3000 A1 7年モデル	RV3000 A1 10年モデル
筐体タイプ	筐体サイズ	ラックサーバ[4U]		
プロセッサ *1	種類・最大搭載数	インテル®Xeon®プロセッサ・スケラブル・ファミリー、最小2CPU/最大4CPU		
	周波数/コア数	Platinum 8160(2.1GHz/24C), Platinum 8156(3.6GHz/4C), Gold 6152(2.1GHz/22C), Gold 6142(2.6GHz/16C), Gold 6132(2.6GHz/14C), Gold 5122(3.6GHz/4C)*2, Gold 5115(2.4GHz/10C)*2		Platinum 8160(2.1GHz/24C), Gold 6142(2.6GHz/16C)
チップセット		インテル社製 C621		
メモリ	最大容量 *3	1.5 TiB(48 x 32 GiB RDIMM @ 2666 MT/s) または 3.0 TiB(48 x 64 GiB LRDIMM @ 2666 MT/s)		
	最大搭載枚数	2CPU時:24 / 3CPU時:36 / 4CPU時:48		
	仕様	DDR4 Registered DIMM / Load Reduced DIMM , Advanced ECC, Online Spare		
表示機能	VRAM	16MB		
	表示解像度(表示色) *4	32ビットカラー:1920×1200		
ハードドライブ (本体内蔵)	ドライブベイ	8 (2.5 インチSFF SAS)	-	
	最大容量 *5	SFF SAS HDD 7.2TB (SFF 900GB×8)	-	
	ホットプラグ	ホットプラグ可能	-	
内蔵ディスク用アレイコントローラ *6		Smartアレイ E208i-p SR コントローラ(オプション)		-
光学ドライブ		DVD-ROM (外付けオプション)		
拡張スロット		最大16スロット		
標準インタフェース	標準ネットワーク	FlexibleLOM アダプターにより変更可能、iLO 5 リモート管理用LAN 1Gb × 1(RJ-45)		
	インタフェース	シリアル×1(RS-232C、DB-9)、モニター×1(背面VGAポート)、USB 2.0×2(背面2)、USB 3.0×5(背面2、前面2、内部1)、フロントiLO サービスポート×1		
TPM (Trusted Platform Module)		非サポート		
外形寸法		446(W)×752(D)×175(H)mm		
質量(最小/最大)		28.2kg/42.2kg		
電源		200-240 V (50 / 60 Hz)、最大4(N+1)冗長構成またはN+N冗長構成		
冗長FAN		サポート		
消費電力(定格)		4800W(電源4本搭載時)		
電流(定格)		26.4A(電源4本搭載時)		
省エネ法 (2021年度)に基づく表示	区分	3		
	エネルギー消費効率 *7	12.9		
VCCI基準 *9		クラスA情報技術装置		
国際エネルギースタープログラム適合モデル		-		
騒音 *10		44dBA		
温度/湿度条件(非動作時)		温度:10~35°C(-30~60°C)/湿度:8~90%(5~95%)但し結露しないこと *11	温度:10~28°C(-30~60°C)/湿度:8~90%(5~95%)但し結露しないこと *11	
製品含有化学物質管理		RoHS指令で規定される特定有害物質の使用制限に対応		

●HDD/SSD/USBメモリーなどの容量表記は、1KB(キロバイト)=1,000バイトで計算した物理容量です。メモリーの容量表記などで用いる1KiB(キビバイト)=1,024バイトで計算した論理容量とは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。*1:3CPU構成は個別対応です。*2:3CPU搭載は非サポートです。*9:1KiB(キビバイト)=1,024バイトで計算した容量です。また、使用OSによって搭載可能な最大容量は変わります。*4:使用するディスプレイやOSの制限などにより、実際に設定できる解像度、表示色が異なる場合があります。*5:1KB(キロバイト)=1,000バイトで計算した物理容量です。また、ディスプレイ最大搭載時スベアドライブ取付不可。*8:ブートモードはUEFIモードのみのサポートです。(レガシーBIOSモードは非サポートです)*7:エネルギー消費効率とは、中央演算処理装置、補助記憶装置及び主記憶装置の消費電力あたりの性能を幾何平均して得られる数値です。*9:この装置はクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。*10:ISO7779に準拠。設置環境の温度やシステム装置の負荷状態により、本基準値を超えることがあります。*11:日立製FCボード搭載時の動作時湿度条件は20~80%です。